

令和5年5月吉日

オンラインセミナー開催のご案内

(一社) アグロメディカルフーズ研究機構

アグロメディカルフーズ研究機構では、機能性に優れた農林水産物の普及に向けた様々な活動に取り組んでいます。

今般、その一環として下記によりオンラインセミナーを開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

1. 日時 令和5年7月3日(月) 14:00～
(入室開始 13:50)
2. プログラム
 - (1) 理事長挨拶
 - (2) 講演 「健康長寿と腸内細菌叢: Rejuvenation を考える」
京都府立医科大学大学院医学研究科教授 内藤裕二 氏
 - (3) 意見交換
3. 参加費 無料
4. 申し込み方法
メールに下記の必要事項を記載の上、アグロメディカルフーズ研究機構のアドレス (info@amfo.or.jp) に送付する (お問い合わせも同アドレスへ)
 - ・事業者(企業)名
 - ・セミナー参加者のお名前、ご所属
 - ・連絡先メールアドレス
5. 申込期限 令和5年6月27日(火)

講師（内藤裕二氏）のご紹介



消化器専門医として最新医学に精通。消化器病学や消化器内視鏡学、生活習慣病の他、健康長寿や抗加齢医学、腸内フローラも専門としている。今年1月に放送されたNHK「ヒューマンクエスト」に解説者として出演。

（略歴）昭和58年京都府立医科大学卒業。米国ルイジアナ州立大学医学部客員教授，独立行政法人科学技術振興機構科学技術振興調整費研究領域主幹，京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学准教授，同大学附属病院内視鏡・超音波診療部部長を歴任し、令和3年から京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座教授。

（主な著書『人生を変える賢い腸の作り方』ダイヤモンド社 東京 2016年
『すべての臨床医が知っておきたい腸内細菌叢』羊土社 2021年
『すごい腸とさんねんな脳』統合法令出版 2023年 ほか多数

（講演要旨）

腸管の老化（Aging Gut）を制御することが生活習慣病の予防、健康長寿の延伸につながる可能性を示す重要な成果が報告されてきている。慢性便秘症はAging Gutの典型的兆候であり、その治療は便秘改善だけでなく重要な意義がある。「ヒトを含めた生物の寿命延長（健康長寿）に必要な腸内細菌とは？」という問いに明確に答えることはできないが、暦年齢ではない生物学的年齢の指標として腸内細菌叢解析から得られる情報が有用である可能性がある。さらに細菌叢解析に加えて、質量分析計を中心にした同定技術の進歩によって、宿主の免疫、炎症、代謝に影響する多くの細菌代謝物の存在が明らかになりつつある。

本講演では、腸内微生物、腸内代謝物の情報解析から老化時計（Aging Clock）の一つとしてgAge™（ジーエイジ、gut clock of aging）という考え方を紹介する。gAge™はヒトを対象にした臨床介入試験のバイオマーカーとして使用することが可能と考えられる。さらに、gAge™を定義することにより、健康寿命延長に向けた新しい戦略、腸内環境を標的にした若返り（Rejuvenation）戦略も現実となりつつある。

食品成分であるポリアミンという成分に注目が集まっている。ポリアミンは腸内細菌によっても産生され、*Bifidobacterium animalis* subsp. *lactis*（LKM512株）のマウスへの投与により、大腸内でポリアミンという物質が増加し、マウスの寿命延長に繋がることが報告されている（PLoS One 2011, 6; e23652）。

さらに、ポリアミンの一種であるスペルミジンは、T細胞分化に関与し（Cell 2021, 184: 4186-4202）、老化T細胞を若返り（rejuvenate）することも報告された（Science 2022, 378: eabj3510）。ヒト比較試験においてもLKM512株の有効性を示すことができた。腸内環境を標的にしたRejuvenation戦略の最新情報を提供したい。